

新医学系指针对応「情報公開文書」フォーム

複数施設研究用

「小児患者から臨床的に分離された *Escherichia coli* (AmpC) の分子学的特性の解析」に関する研究

1. 研究の対象

2014年4月～2022年12月に当センターで提出された培養検査から *E. coli* (AmpC) が分離された方。

2. 研究目的・方法・研究期間

大腸菌 (*Escherichia coli*) は尿路感染症などの一般的な起因菌で、小児臨床感染症の現場において頻繁に遭遇します。大腸菌は様々な理由で抗菌薬に耐性を獲得しますが、特に Extended spectrum β -lactamase (ESBL) 産生菌や AmpC 産生菌と呼ばれる耐性菌は、広範囲な抗菌薬に耐性を一度に獲得するため、臨床的に多くの困難をもたらします。大腸菌は元来から染色体上に *ampC* 遺伝子を保有していますが、臨床検体から *E. coli* (AmpC) が分離されることは非常に稀です。大腸菌 (AmpC 産生菌) が分離された患者さんの臨床情報ならびに、その菌株の分子学的特性の解析を行うことで、小児患者における AmpC 産生菌の獲得リスクやその分子学的特性に関する知見が得られる可能性があります。

当センターで 2014年4月1日～2022年12月31日に提出された培養検査で *E. coli* (AmpC) が分離され、その菌株が冷凍保存されていた患者さんを本研究の対象とします。電子カルテを参照し、年齢(月齢)、性別、基礎疾患、検体の種類、感染症の有無、推定される感染経路の情報を後方視的に収集します。また、菌株を藤田医科大学医学部微生物学講座で全ゲノム解析などを行い、菌の性質や耐性獲得機序の精査を行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、基礎疾患、検体の種類、感染症の有無、推定される感染経路

試料：菌株

4. 外部への試料・情報の提供

菌株は外部の研究機関(藤田医科大学医学部微生物学講座)に送付して、全ゲノム解析などの菌の性質や耐性獲得機序に関する精査を行います。

菌株を外部に提供する際に、菌株には特定の番号を割り振り、個人情報(年齢や性別など)のデータは切り離しますので、菌株から個人は特定されません。菌株の個人情報の連結したデータ(対応表)は、当センターの研究責任者が保管し、特定の関係者以外がアクセスできない状態で管理します。

5. 研究組織

藤田医科大学医学部 微生物学講座 鈴木 匡弘

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出
ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

あいち小児保健医療総合センター

総合診療科 小川 英輝

〒474-8710 愛知県大府市森岡町七丁目 426 番地

電話 0562-43-0500 (代表) FAX 0562-43-0513

研究責任者：

あいち小児保健医療総合センター

総合診療科 小川 英輝

〒474-8710 愛知県大府市森岡町七丁目 426 番地

電話 0562-43-0500 (代表) FAX 0562-43-0513

研究代表者：

藤田医科大学医学部

微生物学講座 鈴木 匡弘

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1 番地 98

電話 0562-93-2000 (代表)

-----以上